



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月6日
上場取引所 東

上場会社名 極東貿易株式会社
 コード番号 8093 URL http://www.kbk.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 義也
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岡田 薫 (TEL) 03-3244-3558
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	23,467	△23.3	△259	—	43	△90.1	△211	—
2020年3月期第2四半期	30,598	3.5	357	81.8	440	△36.7	346	△39.6

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △51百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 251百万円(△26.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△34.43	—
2020年3月期第2四半期	54.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	41,511	21,091	50.8	3,431.88
2020年3月期	47,886	22,139	46.2	3,609.91

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 21,091百万円 2020年3月期 22,139百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2021年3月期	—	0.00			
2021年3月期(予想)			—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	58,000	△4.0	300	△65.8	650	△21.7	250	12.8	40.76	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー、除外 ー社(社名)ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	6,495,918株	2020年3月期	6,495,918株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	350,014株	2020年3月期	362,896株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	6,136,702株	2020年3月期2Q	6,365,628株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(連結の範囲または持分法適用の範囲の変更)	10
(セグメント情報等)	11
(追加情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大による休業要請や人の移動制限などによって、経済活動は大きく制限され個人消費も冷え込むなど、景気は急速に悪化し極めて厳しい状況となりました。足元においては、徐々に経済活動は再開しているものの、国内感染者数は僅かながら増加傾向にあり、また一部の国や地域では感染が再拡大するなど、先行きについては国内外において一層の不透明感が広がっております。

このような状況の中、当グループは当連結会計年度を計画2年目とする5か年の中期経営計画「KBKブレイクスルー2023」において、事業環境の激変にも耐え得るよう事業ポートフォリオの最適化に取り組んでおります。

当第2四半期においては、電子・制御システム関連部門におけるロシアでのリチウムイオンバッテリー事業が好調に推移したものの、新型コロナウイルスの影響により、基幹産業関連部門における重電事業に納期遅延等が発生したことに加え、産業素材関連部門における樹脂・塗料事業と機械部品関連部門におけるねじ関連事業についても新型コロナウイルスの影響で大きく落ち込んだことから、売上高は前年同期に比べ71億31百万円減少の234億67百万円となり、売上総利益も前年同期に比べ9億6百万円減少の32億67百万円となりました。営業利益は、販売費及び一般管理費が2億89百万円減少したものの売上総利益の減少が響き、前年同期に比べ6億16百万円減少の2億59百万円の損失となりました。経常利益につきましては、持分法投資利益が高い水準を維持しているものの、新型コロナウイルスの影響による新興国通貨急落を受けた為替差損もあり、営業利益の減少をカバーするには至らず、前年同期に比べ3億96百万円減少の43百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、事業ポートフォリオの最適化の一環として行った関係会社株式売却損の計上により前年同期に比べ5億57百万円減少の2億11百万円の損失となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

基幹産業関連部門

新型コロナウイルスの影響により、国内重電事業や輸出案件に納期遅延等が発生したことに加え、自動車関連事業向け検査装置事業も低調に推移したことから売上高は前年同期に比べ30億13百万円減少の65億65百万円となり、セグメント利益は2億53百万円減少の3億38百万円の損失と減収減益となりました。

電子・制御システム関連部門

電子機器事業において半導体関連品が堅調に推移したことに加え、欧州現地法人におけるEVバス向けリチウムイオンバッテリー事業が好調に推移したことから売上高は前年同期に比べ1億1百万円増加の57億59百万円となり、セグメント利益は32百万円増加の1億53百万円と増収増益となりました。

産業素材関連部門

樹脂・塗料事業における自動車業界向け商品が、新型コロナウイルスの世界的感染拡大の影響で国内外ともに落ち込んだことから売上高は前年同期に比べ27億69百万円減少の53億70百万円となり、セグメント利益は1億42百万円減少の5百万円と減収減益となりました。

機械部品関連部門

コア事業であるエトー株式会社のねじ関連事業は米中貿易摩擦の影響が残る中、新型コロナウイルスの影響により、産業機械、建設機械の製造ライン休止や作業時間短縮が相次いで発生していたことから大きく落ち込み売上高は前年同期と比べ14億48百万円減少の57億71百万円となり、セグメント利益は2億55百万円減少の82百万円の損失と減収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当グループの当第2四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ63億74百万円減少し、415億11百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が43億29百万円、現金および預金が19億84百万円減少したこと等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ53億27百万円減少し、204億19百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が57億86百万円、長期借入金が1億63百万円及び社債が1億18百万円減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ10億47百万円減少し、210億91百万円となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失2億11百万円の計上及び配当金の支払い3億67百万円を実施したこと等によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ19億27百万円減少の59億58百万円となりました。増減額の増減要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローでは、13億14百万円の支出(前年同期比22億6百万円減)となりました。その主な要因は、売上債権の増減額が30億52百万円減少、前受金の増減額が7億93百万円増加及び仕入債務の増減額が2億78百万円増加したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、29百万円の収入(前年同期比0百万円増)となりました。その主な要因は、当第2四半期連結累計期間において実施した関係会社株式の売却による収入が増加したこと及び前第2四半期連結累計期間にあった投資有価証券の売却収入が当第2四半期連結累計期間には存在しなかったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、6億53百万円の支出(前年同期比9億46百万円増)となりました。その主な要因は、短期借入金の純増減額が7億72百万円増加したこと及び自己株式の取得による支出の減少があったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の業績予想につきましては、2020年9月28日の「2021年3月期連結業績予想ならびに配当予想に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,571	7,587
受取手形及び売掛金	17,674	13,345
商品及び製品	3,949	3,827
仕掛品	1,011	1,056
原材料及び貯蔵品	263	278
前渡金	2,109	2,321
その他	1,326	1,096
貸倒引当金	△18	△17
流動資産合計	35,887	29,495
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,836	1,851
減価償却累計額	△1,218	△1,249
建物及び構築物(純額)	617	602
機械装置及び運搬具	600	602
減価償却累計額	△477	△487
機械装置及び運搬具(純額)	123	114
工具、器具及び備品	1,082	1,068
減価償却累計額	△964	△962
工具、器具及び備品(純額)	117	105
土地	1,247	1,247
リース資産	142	149
減価償却累計額	△61	△59
リース資産(純額)	80	90
使用権資産	214	272
減価償却累計額	△103	△126
使用権資産(純額)	110	145
建設仮勘定	105	148
有形固定資産合計	2,402	2,454
無形固定資産		
のれん	56	47
リース資産	5	3
その他	333	338
無形固定資産合計	395	389
投資その他の資産		
投資有価証券	6,957	6,965
長期貸付金	27	25
その他	2,229	2,200
貸倒引当金	△13	△18
投資その他の資産合計	9,200	9,172
固定資産合計	11,998	12,016
資産合計	47,886	41,511

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,027	9,241
短期借入金	3,285	3,301
1年内償還予定の社債	237	237
リース債務	111	132
未払法人税等	179	128
前受金	2,610	3,176
賞与引当金	304	301
その他	704	641
流動負債合計	22,459	17,158
固定負債		
社債	475	356
長期借入金	786	623
リース債務	93	117
長期未払金	37	24
繰延税金負債	383	648
退職給付に係る負債	1,500	1,479
資産除去債務	11	11
その他	—	0
固定負債合計	3,287	3,261
負債合計	25,746	20,419
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,496	5,496
資本剰余金	7,942	7,942
利益剰余金	9,133	7,900
自己株式	△730	△704
株主資本合計	21,841	20,634
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	465	962
繰延ヘッジ損益	1	12
為替換算調整勘定	△91	△442
退職給付に係る調整累計額	△77	△73
その他の包括利益累計額合計	298	457
純資産合計	22,139	21,091
負債純資産合計	47,886	41,511

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	30,598	23,467
売上原価	26,423	20,199
売上総利益	4,174	3,267
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	1,616	1,606
従業員賞与	51	27
賞与引当金繰入額	228	220
退職給付費用	126	107
減価償却費	110	113
貸倒引当金繰入額	△30	4
その他	1,714	1,448
販売費及び一般管理費合計	3,817	3,527
営業利益又は営業損失(△)	357	△259
営業外収益		
受取利息	18	12
受取配当金	108	120
持分法による投資利益	7	196
その他	26	70
営業外収益合計	160	398
営業外費用		
支払利息	13	16
為替差損	41	64
支払手数料	9	—
その他	13	14
営業外費用合計	77	95
経常利益	440	43
特別利益		
投資有価証券売却益	76	—
特別利益合計	76	—
特別損失		
関係会社株式売却損	—	95
投資有価証券評価損	—	42
特別損失合計	—	138
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	516	△94
法人税、住民税及び事業税	120	66
法人税等調整額	49	49
法人税等合計	170	116
四半期純利益又は四半期純損失(△)	346	△211
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	346	△211

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	346	△211
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△79	496
繰延ヘッジ損益	△14	10
為替換算調整勘定	△26	△284
退職給付に係る調整額	18	3
持分法適用会社に対する持分相当額	7	△67
その他の包括利益合計	△94	159
四半期包括利益	251	△51
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	251	△51
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	516	△94
減価償却費	152	161
のれん償却額	41	9
持分法による投資損益(△は益)	△7	△196
賞与引当金の増減額(△は減少)	11	△3
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△34	4
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△4	△16
受取利息及び受取配当金	△127	△132
支払利息	13	16
投資有価証券評価損益(△は益)	—	42
投資有価証券売却損益(△は益)	△76	—
売上債権の増減額(△は増加)	7,287	4,234
関係会社株式売却損益(△は益)	—	95
たな卸資産の増減額(△は増加)	△500	△140
前渡金の増減額(△は増加)	98	△215
未収入金の増減額(△は増加)	105	71
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△129	141
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,118	△5,840
未払金の増減額(△は減少)	△69	△42
前受金の増減額(△は減少)	△224	568
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△88	1
その他	△26	△16
小計	818	△1,350
利息及び配当金の受取額	312	159
利息の支払額	△13	△16
法人税等の支払額	△226	△107
営業活動によるキャッシュ・フロー	891	△1,314
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△351	△335
定期預金の払戻による収入	351	346
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却による収入	178	—
固定資産の取得による支出	△198	△120
関係会社株式の売却による収入	—	125
固定資産の売却による収入	0	0
差入保証金の増減額(△は増加)	0	△1
その他	51	18
投資活動によるキャッシュ・フロー	28	29

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△710	62
長期借入れによる収入	—	20
長期借入金の返済による支出	△234	△183
社債の償還による支出	△118	△118
自己株式の取得による支出	△121	△0
配当金の支払額	△347	△366
その他	△68	△68
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,600	△653
現金及び現金同等物に係る換算差額	△29	11
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△710	△1,927
現金及び現金同等物の期首残高	7,643	7,886
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,932	5,958

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月20日 定時株主総会	普通株式	350	55.00	2019年3月31日	2019年6月21日	利益剰余金

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年6月26日 定時株主総会	普通株式	367	60.00	2020年3月31日	2020年6月29日	利益剰余金

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

当第2四半期連結会計期間においてE&H PRECISION (THAILAND) CO., LTD. は株式の一部売却により、持分法適用の範囲から除外いたしました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	基幹産業 関連部門	電子・制御 システム 関連部門	産業素材 関連部門	機械部品 関連部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,578	5,658	8,140	7,220	30,598	—	30,598
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21	21	208	147	397	△397	—
計	9,599	5,679	8,348	7,368	30,996	△397	30,598
セグメント利益又は損失(△)	△84	120	147	172	355	1	357

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額1百万円は、棚卸資産の調整によるものであります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が低いため、注記を省略しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	基幹産業 関連部門	電子・制御 システム 関連部門	産業素材 関連部門	機械部品 関連部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,565	5,759	5,370	5,771	23,467	—	23,467
セグメント間の内部売上高 又は振替高	79	55	118	119	372	△372	—
計	6,644	5,814	5,488	5,891	23,839	△372	23,467
セグメント利益又は損失(△)	△338	153	5	△82	△262	3	△259

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額3百万円は、棚卸資産の調整によるものであります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が低いため、注記を省略しております。

各報告セグメントに属する主な取扱商品・サービスは以下のとおりです。

セグメントの名称	主な取扱商品またはサービスの内容
基幹産業関連部門	鉄鋼、非鉄、自動車、化学、造船、プラントエンジニアリングなどの関連機械装置、電気機械設備、石油掘削関連機器、石油・天然ガス探鉱技術サービスなどの資源開発機器、工場施設に関連する部品・据付修理等を販売
電子・制御システム関連部門	電子機器、電子部品及びソフトウェア、計装制御システム、振動計、画像処理装置、航空機搭載電子機器、地上支援電子機器、航空機用機材、航法装置、リチウムイオン電池などを販売
産業素材関連部門	複合材料製造設備、繊維加工機械、食肉加工機、樹脂加工機械、塗装設備、測定・分析装置、食品用副資材、樹脂、塗料、建設用資材、合成複合材料、鋳鍛造品、不織布製品などを販売
機械部品関連部門	定荷重ばね、ぜんまい、ステンレス製各種ばね類、ねじ鉚螺その他工具、ねじ関連機械器具などを販売

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

当グループは前連結会計年度の有価証券報告書において、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響が少なくとも2020年9月期まで続くとの仮定のもとに会計処理に反映しておりました。これに対し、当第2四半期連結会計期間においては、段階的な経済活動の再開により緩やかな回復が期待できるものの、当連結会計年度中は引き続き影響を受けるものと仮定して会計上の見積りを会計処理に反映しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。